【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和4年10月25日(2022.10.25)

【公開番号】特開2021-126834(P2021-126834A)
【公開日】令和3年9月2日(2021.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2021-041
【出願番号】特願2020-23206(P2020-23206)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　7/028(2019.01)
Ｂ３２Ｂ　9/02(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/36(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/30(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　3/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　7/028
Ｂ３２Ｂ　9/02
Ｂ３２Ｂ 27/36
Ｂ３２Ｂ 27/30　　Ｂ
Ｇ０９Ｆ　3/04　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月14日(2022.10.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリエステル系樹脂を含有する層及びポリスチレン系樹脂を含有する層のうち少なくとも１層を有する熱収縮性フィルムであって、
前記熱収縮性フィルムは、バイオマス由来の成分を含有する
ことを特徴とする熱収縮性フィルム。
【請求項２】
ポリエステル系樹脂を含有する表裏層と、ポリスチレン系樹脂を含有する中間層とを有し、
前記ポリエステル系樹脂及び前記ポリスチレン系樹脂のうちの少なくとも１つはバイオマス由来の成分を含有する
ことを特徴とする請求項１記載の熱収縮性フィルム。
【請求項３】
ポリエステル系樹脂はバイオマス由来の成分を含むポリエステル系樹脂からなる
ことを特徴とする請求項２記載の熱収縮性フィルム。
【請求項４】
ポリスチレン系樹脂はバイオマス由来の成分を含むポリスチレン系樹脂からなる
ことを特徴とする請求項２記載の熱収縮性フィルム。
【請求項５】
ポリエステル系樹脂を含有する層のみからなり、
前記ポリエステル系樹脂はバイオマス由来の成分を含むポリエステル系樹脂からなる
ことを特徴とする請求項１記載の熱収縮性フィルム。

【請求項６】
ポリエステル系樹脂のガラス転移温度が５５℃以上９５℃以下である
ことを特徴とする請求項１、２、３、４又は５記載の熱収縮性フィルム。
【請求項７】
ポリスチレン系樹脂を含有する層のみからなり、
前記ポリスチレン系樹脂はバイオマス由来の成分を含むポリスチレン系樹脂からなる
ことを特徴とする請求項１記載の熱収縮性フィルム。
【請求項８】
ポリスチレン系樹脂のビカット軟化温度が６０℃以上８５℃以下である
ことを特徴とする請求項１、２、３、４、６又は７記載の熱収縮性フィルム。
【請求項９】
バイオマス度が１～５０％であることを特徴とする請求項１、２、３、４、５、６、７又は８記載の熱収縮性フィルム。
【請求項１０】
請求項１、２、３、４、５、６、７、８又は９記載の熱収縮性フィルムを含む熱収縮性ラベル。